

## 団長の独り言

8月14日(日)「お盆に思う事」

いつもの劇団ふぁんハウスならば、夏公演は7月から8月上旬に本番を行っていたので、公演の終わったばかり時期というのは、公演のお盆休みが取れていた。

ただ今年は、夏？公演が10月20日〜21日が本番なので、先週の8月6日(土)より「久美・美容室物語」の稽古が始まったのだから、当然ながら8月13日(土)も14日(日)も稽古となるわけで、通常であれば今年は「お盆の時期」も稽古となるはず。

でもねえ、劇団活動が続けられるのも、家族や身内の方の協力があればこそ。

お盆の時期って、メンバーの皆さんのご家族、親戚とお付き合いもあるだろうかと思ひ、ここは「休む勇氣」を持つ事も大切だと割り切り、先週より「久美・美容室物語」の稽古が始まったばかりだけど、今年も劇団ふぁんハウスでは「お盆休み」なる日をちゃんと設ける事にした。

そもそもお盆とお正月というのは、「家族と過ごすもの」という想いが、私は子供の頃からあった。

しかし、それも中学生の頃、母親が蒸発して行方不明となってからというもの、「家族みんなで……」ってなわけにはいかなかったけれど、父は「盆と正月くらい

は家族と過ごす」ってのをとても大切にしてくれる人だったので、私と弟はそんな父の想いを受け止め、時には「年末年始友達と旅行に行きたいなあ」と思った時もあったけれど、盆と正月は、親子3人で過ごす時間を設けてきた。

劇団の長である私がそんな思想なものだから、「お盆の時期は夏休み！」にすべく劇団活動を24年間続けてきたが、冬公演はねえ……劇場の抽選結果の関係で1月7日の新春公演なんてのもあったし、2月に公演を行うという事もあるの、最終通し稽古や追ひ込みとなる昼夜稽古を行う時期は、必ず正月に重なってしまう。

そうになると、さすがに正月3日が日、のんびりとなつてなわけにも行かず、1月2日か、1月3日も稽古を行っているのが、ここ十数年来の劇団ふぁんハウス。

但し、それでも「正月は家族と過ごす」という時間は大切にしてもらいたいの、稽古不足を感じていようと、元日だけは稽古を入れないようにしてきたけれど、稽古の重要性を痛感しているの、本番直前ともなれば、気持ちとしては、元日も稽古をしたいところではある。

さて、その稽古の重要性って事に関連する話だが、先日、長女の結婚式があった。

本来ならば2年前の夏、劇団活動が夏休みの時期に式を行う計画を立ててくれたのだが、2年前の夏といえば、コロナ感染真つただ中で、全国各地で結婚式の延期・中止のオンパレードの時。

その後も劇団活動のないタイミングを見計らって、2度ほど式を計画立て直したのだが、いずれも延期……その後もコロナの終息は見えないまま。

長女は、「芝居の稽古の重要性」ってのをとても理解してくれていて、結婚式の日取りを考える際、「劇団の稽古のない時期」を選んでくれていたけれど、さすがに3度も延期となると、結婚式場の予約の関係もあるし、終息するのを待っていない、いつまでも結婚式は出来やしない。

そんな折、ひょっこり7月31日(日)の14時挙式、15時から披露宴の枠に空きが出来た。

そこで、このタイミングに式を行う事になったのだが、ただこの日は、来年の2月に開催する「人生芸夢く夢のとおり道」の前期の最終稽古の日なのだ。

5月から行ってきた稽古を一旦終わらせるに当たり、はじめをつける大切な日。だから、どーしても稽古を休むってわけにはいかないし、貴重な稽古時間なので遅刻もしたくない。

時間帯が早ければ問題ないのだが、この時間帯しか空きがない。

そこで長女達は、分刻みのタイムスケジュールを色々練り、予定通り進めば、稽古には間に合うプログラムを完成させた。ただ方が一、5分でも時間を押すと、新婦が両親に対して「感謝」を告げる手紙を読むタイミングに被ってしまう。

いくらなんでもねえ……式のクライマックスである「両親への手紙」のシーンで、新婦の父が「では、私はここで……」ってのは、さすがに避けたいので、式の進行次第では、もっと前の段階で中座する事も考えつつ披露宴に挑んだ。

おそろく、これを読んでいる方は、「本番は来年の2月なんですよ？プロじゃあるまいし……新婦の父なんですよ？そんなねえ稽古なんて休んでもいいんじゃないの？」って思われる人のほうが圧倒的に多いと思う。

でもね、劇団ふぁんハウスの代表という看板を背負っている私が、そんな考え方をする人であったならば、恐らくふぁんハウスはここまで続いていなかったと思う。それほど「芝居の稽古」ってのは、最優先課題としてこれまで活動してきた。

じゃあお盆や正月も稽古すれば？ってな発想になるかもしれないが、結婚式の披露宴は私のプライベートな都合だけど、盆、正月というのは、メンバーとご家族全体の事。

普段は「芝居の稽古」って事でご家族や身内の方に無理を言って活動をしている人も多いはず。

だから「せめて盆と正月は」という想いになるのですよ。

あ、あの：：ちなみに長女の結婚式は、新郎新婦、ならびに劇団メンバーの寛大なるご理解とご協力の下、とりあえず最後の最後までいられる事が出来ました。

本来ならば、式にご出席いただいたご親戚の皆さんへのお見送りまでしなきゃいけないかったのだが、慌てて稽古場に向かうという不義理をしてしまったので、このお盆休みを利用して、東海地方、関西地方の親戚周り、遠方からお越し下さった方へのお礼とご挨拶を致しまして、かなりへ口へ口状態で、大・大渋滞の名神高速、東名高速をノロノロと帰路につき、気持ちも新たに、次回の稽古に気合を入れる団長でありました。